

2026 年 07 月 14 日

富士通株式会社

生成 AI とモダナイゼーション実践知でレガシーシステムの刷新を加速する「Fujitsu AI ドリブンモダナイゼーションサービス」を提供開始

当社は、企業や組織の持続的な成長を支援するため、長年のシステムインテグレーションで培ったモダナイゼーションの実践知と生成 AI を融合した「Fujitsu AI ドリブンモダナイゼーションサービス」を、2026 年 7 月 14 日より日本国内で提供開始します。本サービスは、マルチ AI と専門エンジニアの知見を活用し、リライト・リホストを中心としたモダナイゼーションの自動化・最適化を実現します。これにより、移行期間を約 40%短縮し、お客様の迅速なモダナイゼーションを支援します。

近年、企業におけるデジタルトランスフォーメーション（DX）、および AI トランスフォーメーション（AX）の加速に伴い、競争力の強化と環境変化への迅速な対応に向けて、その基盤となるレガシーシステムのモダナイゼーションは喫緊の課題となっています。特に、法改正が頻繁に行われる金融・公共・医療分野や、複雑な業務管理が求められる製造業・流通業などでは、長年の業務ノウハウがレガシーシステムに蓄積されています。

これらの課題に対し、本サービスは、当社が開発した AI プラットフォーム「Fujitsu Kozuchi」や大規模言語モデル「Takane」（注 1）に加え、Anthropic PBC 社（注 2）（以下、Anthropic）の「Claude」や OpenAI 社（注 3）（以下、OpenAI）の「GPT」をはじめとした最先端 AI 技術と、レガシー技術に精通した当社の専門エンジニアであるモダナイゼーションマイスターの実践知を融合することで、スピーディーかつ高品質なモダナイゼーションを実現し、お客様の迅速なビジネス変革を支援します。

当社は、本サービスの提供を通じて、様々なお客様におけるデータ活用の主導権確立を支援するとともに、データに基づく迅速な経営判断の実現に貢献していきます。

<本サービスの特長>

1. AI による自動化でモダナイゼーションを加速

モダナイゼーションを実現する中核情報として、対象レガシー資産の各種情報を AI が横断的に分析し、AI-Ready な構造化データとして一元的に管理する独自 AI テクノロジーを実装、工程ごとの異なりがちな判断基準を統一することで、手戻りや品質のばらつきを抑制します。さらに既存システムの資産価値を維持しながら、将来的な拡張にも柔軟な対応を可能にします。

また、モダナイゼーションの自動化に特化して独自に開発した AI エージェントによるオーケストレーション制御とタスク並列実行、言語の変換・検証を自動化するハーネスエンジニアリングや、変換結果を継続的に改善するループエンジニアリングを活用することで、大規模かつ効率的な変換を実現します。さらに、単純な機械変換ではなく、オブジェクト指向に基づく保守性・拡張性の高い Java アプリケーションへの移行を可能にします。

加えて、Human-in-the-loop（人が介在する仕組み）による最終判断・補完を行うことで、品質の一貫性確保とリスク抑制を両立します。これにより、大規模かつ複雑なモダナイゼーションを実現するとともに、工程期間を約 40%短縮することが可能です。

2. 複数 AI を最適活用するマルチ AI 型モダナイゼーションでお客様 DX を推進

当社開発の AI プラットフォーム「Fujitsu Kozuchi」と大規模言語モデル「Takane」を中核に、複数の AI エージェントが連携して業務を遂行し、自律して学習する、自己進化マルチ AI エージェント技術を実装します。

また、当社の開発技術に加え、Anthropic の「Claude」や OpenAI の「GPT」をはじめとした世界最先端の AI 技術も積極的に活用していきます。

これら複数の AI をお客様の業務やプログラム特性、セキュリティ水準に応じて柔軟に組み合わせ、トランスフォーメーションサービスとして提供します。これにより、お客様は日々劇的に進化する AI 技術の最適な選択や運用負荷を意識することなく、業務変革や ROI（Return On Investment）の創出といった本来注力すべき取り組みに集中でき、着実なモダナイゼーションを推進できます。

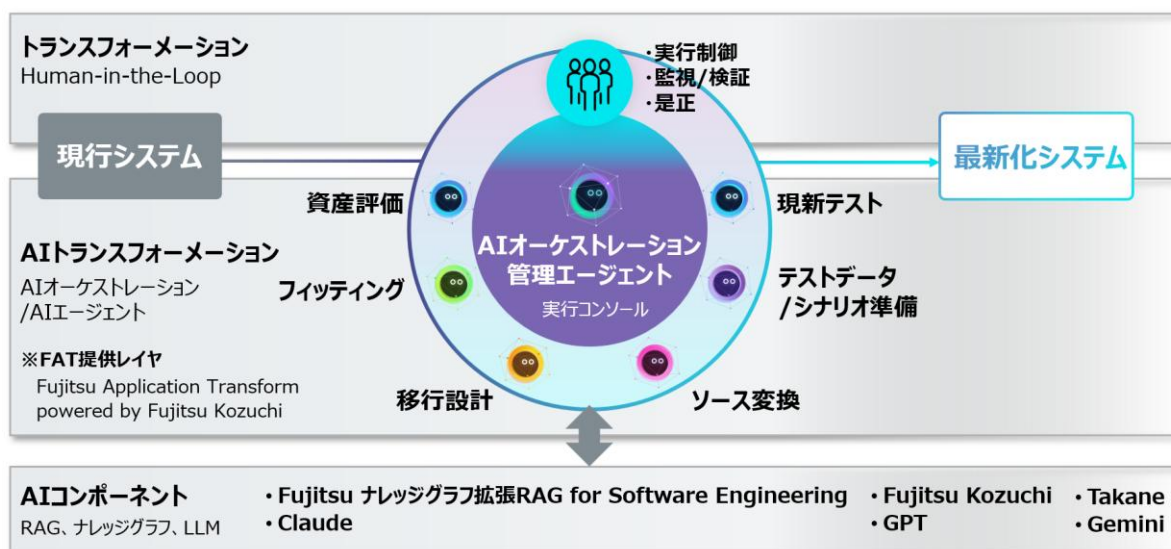
3. 当社の独自ナレッジを学習した専用 AI エージェントで高速・高精度なモダナイゼーションを実現

当社が長年蓄積してきた数千規模のプロジェクト実績や成功・失敗事例などをナレッジとして言語化およびデジタル化し、これらの知見を専用 AI エージェントに学習させています。これにより、ナレッジエンジニアの確保が課題となっていたモダナイゼーションにおいても、場所と時間にとらわれることなく、高い再現性・信頼性・確実性を備えた日本発のモダナイゼーションを実現し、その展開を加速します。

4. お客様自身での AI 活用を支援する自走化サービス基盤を順次提供

当社は、モダナイ AI 基盤サービスの第一弾として、設計書自動生成サービス「Fujitsu Application Transform powered by Fujitsu Kozuchi」を 2026 年 3 月より提供開始しています。今回新たに提供開始する「Fujitsu AI ドリブンモダナイゼーションサービス」は、当社が最新の AI 技術を最適に選択・採用し、お客様にトランスフォーメーションサービスとして提供するモダナイゼーション特化型サービスです。本サービスの実践知を最大限活用し、お客様自身がモダナイゼーションを実行するための AI サービス基盤を順次提供していきます。

今後も本サービスの提供を通じて、お客様のモダナイゼーションのさらなる加速と持続的な進化を支援していきます。



「AI ドリブンモダナイゼーションサービス」の全体概要

【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

【注釈】

注 1 大規模言語モデル「Takane」：当社が Cohere Inc.と共同開発した大規模言語モデル。

注 2 Anthropic PBC 社：所在地 米国カリフォルニア州、共同創業者 兼 CEO ダリオ・アモデイ（Dario Amodei）

注 3 米国 OpenAI 社：所在地 米国カリフォルニア州、CEO Sam Altman

【関連リンク】

- 「Fujitsu AI ドリブンモダナイゼーション」サービスご紹介サイト (<https://docs.fujitsu/documents/003461/ai-driven-modernization-service-ja.pdf>)
- 業務とともに学び続ける自己進化マルチ AI エージェント技術を開発（2026 年 5 月 25 日 富士通株式会社プレスリリース）(<https://global.fujitsu/ja-jp/pr/news/2026/05/25-01>)
- ソースコードを解析し、設計書を自動生成する生成 AI サービス「Fujitsu Application Transform powered by Fujitsu Kozuchi」を提供開始（2026 年 3 月 30 日 富士通株式会社プレスリリース）(<https://global.fujitsu/ja-jp/pr/news/2026/03/30-01>)
- 最適なモダナイゼーションの計画策定を生成 AI で支援する「Fujitsu 資産分析・可視化サービス」を提供開始（2025 年 2 月 4 日 富士通株式会社プレスリリース）(<https://pr.fujitsu.com/jp/news/2025/02/4.html>)

本件に関するお問い合わせ

富士通株式会社

お問い合わせフォーム <https://contactline.jp.fujitsu.com/customform/csque04802/873532/>